ホロッコレクション #1

from
渋谷コントセンター

きみといつまでも

2015.9.20 sun - 9.21 mon

みんな大好き、夫婦コンビ・ホロッコ。
コントで紡ぐ、愛とか恋とか友情とかの物語。
たくさんの作家、みんなで紡ぐ、新しいコントの物語。
ホロッコをぜひ渋谷で「発見」してください。

出演
ホロッコ（こまり・ほり太）

多数作家参加！

作
川田十夢（AR三兄弟）
塚本直毅（ラブレターズ）
平井まさあき（男性ブランコ）
ワクサカソウヘイ（ミラクルバッションズ）
ホロッコ
他

いとうせいこう ホロッコの独特ほのぼの世界はもはや日曜日アニメであり、夫婦エッセイであり、コントから演劇の狭間にもうひとつのジャンルがあると教えてくれる。/ **マキタスポーツ（東京ポッド許可局）** ホリッコの面白さは、夫婦という形態に潜む本質的な不条理さを浮き彫りにしたものだ。そこがホリッコの強みであり、唯一無二な点である。初めてホラ田さんに会った時に確信した。夫婦スタイルのコメディに風穴を開けるのはこの人たちだと。また、小プリさんのオジさんキャラもベーソスに溢れ、可愛らしい。売れてから「あれは俺が育てた」とかほざく者が出てくるのも、あえて言わせていただく。ホリッコに目をかけたのは、この私が最初だ。以来ずっと面倒見てきた。メディアは早く気づけ。/ **プチ鹿島（東京ポッド許可局）** 夫さんを『相方』と呼ぶ人が多いですが、ホントにそう呼べる資格があるのはホロッコだけです。また公然でイチャイチャしてください。/ **サンキュータツオ（東京ポッド許可局）** 売れるためとか笑わせるため以上のずっと作り続けてきたものが、このふたりにはある！幸せな時間と空間を味わってください。/ **しまおまほ** かわいいボケ！かわいいツッコミ！お笑い界に、かわいい革命の風が吹く！ピュ〜♪/ **九龍ジョー（ライター、編集者）** 渋谷コントセンターの旗揚げで目撃した『小津さんコント 30 分 ver.』はすでにボクの中で伝説となっている。ホロッコを見たのはそれっきりだが、あの婦人のウザさ、かわいさ、憎めなさはいまだ後を引いている。/ **西田征史（脚本家）** 久しぶりにホロッコのネタを観見した。ホロッコという芸名の由来である【トロッコのように緩やかだが堅実に笑いを届け、その笑いによって観客をホッコリと癒したいから】という願いは既に叶えられていると感じた。（＊芸名の由来は勝手な想像です）/ **Boojil（イラストレーター）** ゆるくて、時にスパイシー！じわじわ身体に染みてくるオモシロさ。夫婦でお笑いとはたくましすぎる。わたしも是非見習いたい。。ホロッコのコントにすっかり魅了されました〜！

一年ほど前だろうか。初めてホロッコのコントや漫才を観た。衝撃だった。

こんなにも温かく、こんなにも優しく、そしてこんなにも面白い芸人がいたなんて。
ホロッコを、応援したい。世に広めたい。もっとたくさんの人に、ホロッコを知ってほしい。素直に、そう思った。そして気がつくと、ホロッコにこんなことを言っている自分がいた。「僕に、制作をやらせてください」。
まず、たくさんの人に声をかけた。コメントをしてくれる人や、一緒にホロッコのコントを考えてくれる人を集めた。そして再び、驚いた。誰もが気持ちよく、それをOKしてくれたのだ。
みんな、ホロッコが好きなんだ。

さあ、あなたもホロッコを好きになる時がやってきました。どうぞ、ホロッコレクション#1「きみといつまでも」に足をお運びください。ここにしかない、男と女の物語、みなさまにお贈りいたします。

ワクサカソウヘイ

予約方法

特設チケット予約フォームよりご予約をお願い致します。
8月8日（土）午前10時よりご予約開始

【予約フォーム】
http://goo.gl/G4xvGy
●とても簡単にご予約いただけます。
ご精算は当日受付にてお願いいたします。
●もしくはユーロスペースのホームページにて

お問い合わせ holoccollection@gmail.com
詳細はユーロライブHPまで

日時

2015年9月20日（日） 14時開演
2015年9月21日（月・祝） 14時開演
※当日受付開始は開演60分前、開場は30分前です。
●未就学児の入場はご遠慮いただきます。
●公演は約90分を予定しております。

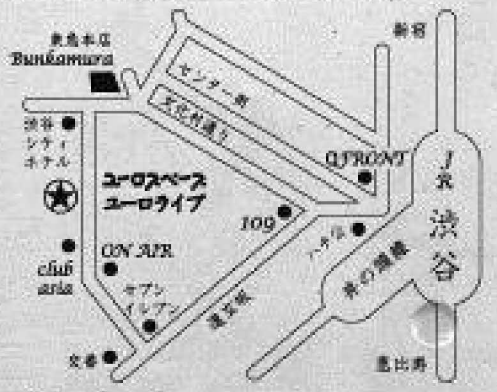
チケット料金

前売り2,500円 / 当日 2,800円 （全席自由席）

会場

ユーロライブ 渋谷区円山町1-5 KINOHAUS 2F

渋谷駅下車、
文化村前
交差点左折
ユーロスペース内



宣伝美術：太田藍生
宣伝撮影：小針
協力：ASH&Dコーポレーション
よしもとクリエイティブ・エージェンシー
主催：渋谷コントセンター、オフィス北野
制作・構成協力：みんなの山下、荒ぶる神々
企画・制作・構成：ワクサカソウヘイ